

## エコ1 グランプリ 最終審査出場

# 研究専門部門にて “内閣総理大臣賞” を受賞！

12月7日（土）にエコ1グランプリ（主催イオン、毎日新聞社 後援内閣府等）の最終審査会に本校の土岐川ゼミが選ばれ、2年生の山本ひなたさんと後藤優斗君が発表し、研究・専門部門で見事1位である内閣総理大臣賞を受賞することができました。エコ1グランプリとは、学校単位で取り組んでいるエコ活動であり、その優秀なエコ活動について表彰することで、エコ活動がさらに広がり、環境への意識がさらに高まることを目指して開催されるものです。本校は地域の問題に着目した専門性の高い活動にあたる「研究・専門文門」に応募し、応募総数117校（140テーマ）の中の上位14校に選ばれました。最終審査として5分間のプレゼンテーションと10分間の質疑応答が課され、当日は緊張しきった二人でしたが、今までやってきた活動内容、実験結果、考察、今後の展望についてしっかりと発表することができました。特に質疑応答では、審査員の質問をしっかりと聞き、言葉に詰まりながらも自分の言葉で明快に答えることができました。表彰式後の審査員のコメントでも、質疑応答の受け答えがすばらしかったとお褒めの言葉をいただき、審査員とのやり取りのすばらしさを評価したということでした。この発表を通じて、しっかりと話を聞き、自分の言葉で答えるということの重要性、そしてしっかりと答えるためには地道な研究を続けていくことが大切であるということを確認することができました。今後も研究を続け、地域に貢献していきます。



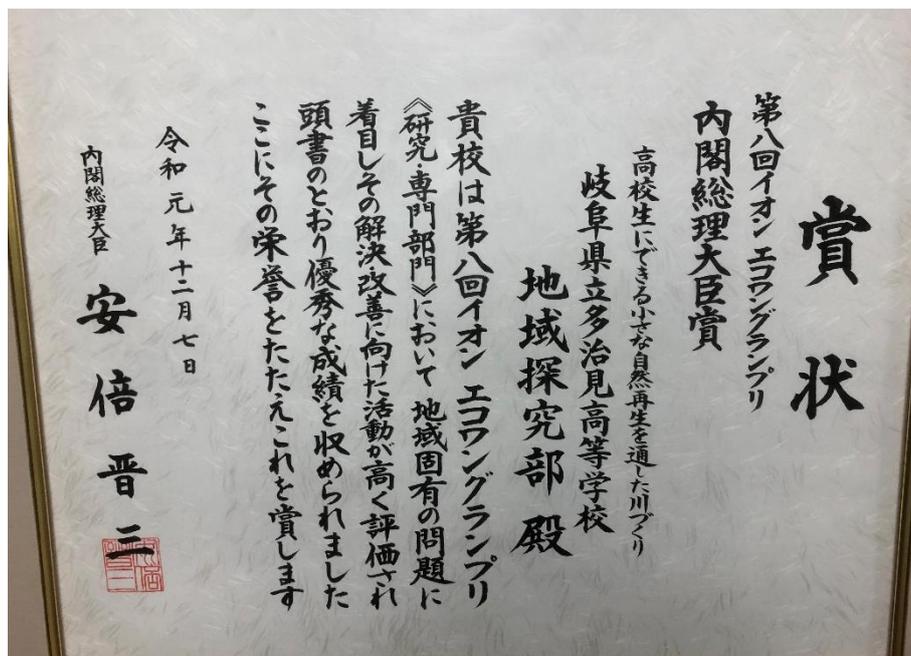
発表の様子



左：後藤優斗くん 右：山本ひなたさん



大塚内閣府副大臣との受賞記念撮影



頂いた賞状

和紙に墨で書かれたとても大きな賞状です。多治見高校玄関に飾ってあります。来校された際にご覧ください。

### 感想

・最終審査ということで、とても緊張しました。著名な審査員の方や同じような活動を行っている全国の高校生の前で発表し、質疑応答を受けるということはなかなか無いので、とても貴重な経験となりました。この経験を自分の糧とし、今後も研究活動に取り組んでいきたいです。(山本ひなた)

・自分たちが行ってきた小さな自然再生を、エコ1を通じて全国の高校生に伝えることができ、とても良い経験となりました。全国の高校生の生物・環境保全に関する取組みなど、様々な活動を知ることができて、非常に有意義な1日となりました。(後藤優斗)

担当：佐賀達矢・杉本真弥・下総郁子